

かんしょ(さつまいも)登録農薬適用表

登録内容は2021年10月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		1	トップジンM水和剤	植付前	1回	200~500倍	—	黒斑病	—	—	水和剤	20~30分間種いも又は苗基部浸漬	チオファネートメチル	
		1	ベンレート水和剤	植付前 挿苗時	1回	500~1,000倍 種いも重量の0.4%	—	つる割病、黒斑病 黒斑病	—	—	水和剤	20~30分間苗基部浸漬 種いも粉衣	ベンチル	
		1、M3	ベンレートT水和剤20	植付前	1回	500~1,000倍(20~40ml/株)	—	つる割病	—	—	水和剤	株元灌注		
		M1	ドイツボルドーA	—	—	20倍	—	黒斑病	—	—	水和剤	1分間さし苗基部浸漬	チウム	
		M1	Zボルドー	—	—	200倍	—	黒斑病	—	—	水和剤	30分間さし苗基部浸漬	ベンチル	
		M1	Zボルドー	—	—	500倍(100~300g)	200g	斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅	
	M1	Zボルドー	—	—	500倍(100~300g)	200g	斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	有効成分名	備考
殺虫剤		1	ネマトリンエース粒剤	苗床植付前 植付前	1回	10~30kg 15~20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和 作条土壌混和	ホスチアゼート	
		1	ダイアジノン粒剤5	植付前 収穫30日前まで	1回 3回以内	4~6kg 4~6kg	—	ケラ、ネキリムシ類 コガネムシ類幼虫	—	—	粒剤	全面土壌混和又は作条土壌混和 作付前:全面土壌混和又は作条土壌混和、生育中:作条処理して軽く覆土	ダイアジノン	
	劇	3A	フォース粒剤	植付前	1回	9kg	—	コガネムシ類幼虫、ハリガネムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和または作条土壌混和	テフルトリン	
	劇	3	アグロスリン水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	100~50g 100g 50g	ナガシロシタバ、ハスモンヨウ イモコ、ヒカラスメ、コナジラギ類、ネキアザミウマ、ヨウムシ アブラムシ類	速	長	水和剤	散布	シベルメトリン	
		3	トレボン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハスモンヨウ、ナガシロシタバ、アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	イトフェプロックス	
		4	アクタラ粒剤5	植付前 育苗期	1回	6~9kg 6~9kg 6kg	—	コガネムシ類幼虫 アブラムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和 作条混和 株元散布	チアトキサム	
		6	アフーム乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍~2,000倍(100~300g)	100~50ml	ハスモンヨウ、シイモシヨウ	速	短	乳剤	散布	エマメチル安息香酸塩	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍~6,000倍(100~300g)	50~17g	ハスモンヨウ、ナガシロシタバ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンシアミド	

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤(非選択性)		パスタ液剤	雑草生育期又は畦間処理(収穫14日前まで)	200~500ml(100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
	毒	ブリグロックスL	植付前 畦間処理、雑草生育期(但し、収穫30日前まで)	600~1,000ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	